

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 7月 1日

公表: 令和 6年 7月 11日

事業所名 チャイルドウィッシュねくすと

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		法令を遵守したスペースを確保しつつ、空間を最大限活用しています。	
	2 職員の配置数は適切である	7		法令が必要とされる職員配置に加え、児童指導員・保育士を1名以上(常勤換算算定にて)配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		玄関前に段差があるので、スロープや手すりの設置を検討していかなくてはと考えています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		毎月の幹部会議、管理者会議、事業所会議を開催しています。各自の目標を設定し意識向上に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者様向けの評価表によるアンケートを活用し、業務改善に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページにて毎年更新しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		法人内や事業所職員による内部監査や職員の見学体験の機会を設けています。第三者による外部評価の必要性を感じています。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		グループ本部による研修・法人内研修・外部研修への参加機会を設けています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			定期的な懇談会・送迎時の申し送りの元アセスメントを行っています。事業所会議や朝礼・終礼などで職員間での情報の共有や支援方法の共有を行い、職員が統一した認識を持つようしていきたいと思います。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	法人内で統一したツールの活用をしています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		マンネリ化しないように随時見直しをしています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		ねらいを決めて随時検討・実施保護者のニーズに応えながら固定化されないようにプログラムを立てています。	職員間で意見を出し合いながら課題を用意したり、活動内容が固定化されないように、計画書を基に個別・小集団・全体活動を立案し、支援を行っていきたくと考えています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別・小集団・全体の3体制で日々行っています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼・終礼の実施 利用者の確認、活動内容について打ち合わせ、共有しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	利用者を送った後、職員間で気になる点等を情報共有し、翌日につなげています。	支援終了後に送迎の無い職員間で振り返りを行っていますが、送迎後は時間が無い事があるので、その日あった事を情報共有ノートに必ず記載をし、各職員が情報共有が行える体制を整えていきたくと考えています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			計画書に添った支援内容を客観的に記録するように努めています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、必要に応じて計画書の内容の見直しに努めています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			法人研修でガイドラインについて確認する機会を確保していますが、研修に参加していない職員も常時確認できる体制を整えていく必要があると考えています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		管理者が参加をしています。	現在は管理者のみが参加していますが、今後は支援に関わる職員が必要に応じて参加出来るようにしていきたいと考えています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		毎週の学校予定表の写しを頂いています。場合によっては学校へ電話での確認を行っています。	不明で心配な事があれば電話等で学校に直接確認、情報共有を行っています。学校によっては情報共有が少ない学校もあるので、今後関りを深めていきたいと思っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3			現在対象となる児童は在籍しておりませんが、今後は検討をしていかなければと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3		法人内からの移動が多い為、以前通所していた事業所との連携を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		連絡帳を用いて状況提供が出来る体制を整えてあります。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		必要に応じて研修に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4			現在は機会が無く行っておりませんが、今後機会があれば交流していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2		年4回連絡会への参加を行っています。	
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎・電話・LINE・懇談会での共有を行っています。	送迎時に簡単にその日の様子をお伝えしていますが時間が無く全てを伝える事が難しい為、HUGでのその日の様子を細かく記載し、情報共有していく事を目標にしております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		年2回以上の懇談会や法人開催のパパママ会、交流会等を行っています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		変更があった場合は送迎時に保護者様に説明を行い、毎日のケア記録にて支援内容を伝えていきます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				懇談会にて話を聞いたり、日々の送迎時に相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			法人内でパパママ会・交流会を開催し、交流する機会を設けています。	パパママ会のみならず保護者同士で同じ悩みや知りたい情報を共有できる機会を企画し、子育ての悩みを軽減していけたらと思います。平日仕事の保護者様も参加出来るように土曜日開催を考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				過去の苦情に関しても職員間で情報共有し、職員のスキルアップに繋げていきたいと思っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1			去年は定期的に会報の発行を行っていましたが、現在は発行をせず、LINEや活動記録での共有のみとなっております。今後は定期的に通信を発行したり、SNSを利用して幅広く情報提供をしていけたらと考えています。
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報事業所外に持ちだしたり、外部で話す事を禁止しております。	書類等は鍵付きの書庫へ保管しておりますが、書庫の数に限りがあるため、今後増やしていかなければと考えています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			大切な事を伝える際には、口頭のみならず文書やメール等の形に残るようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4			事業所内での行事のみしか行っておらず、地域の方とは散歩の際に挨拶を交わすぐらいなので、今後は開かれた事業所運営を目指していけたらと考えています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		保護者の方に深く周知徹底が出来ていない為、再度お伝えをしていきたいと思ひます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	年に2回以上避難訓練を実施し、記録をしています。	火災・地震等災害以外にも変質者対策なども今後取り入れていく必要があると考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	法人内でマニュアルを基に研修を行っています。	法人研修に参加していない職員にも事業所内で研修を行い、周知徹底していきたいと考えています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	法人内で研修を実施し、保護者様へは丁寧に説明をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	契約時にアレルギーの有無を確認しています。	個々のアレルギー、対応について把握していない職員がいないように周知徹底をしていきたいと思ひます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	事例が起こった際には全職員に速やかに状況共有をし、ヒヤリハット報告書を作成して常に確認できるように保管をしています。	当事業所にみならず、他事業所のヒヤリハット事例集にも目を通して参考にしていきたいと思ひます。